

## 県政戦略会議の概要

- 1 開催日時：平成19年4月20日（金）9：00～10：50
- 2 開催場所：プレゼンテーションルーム
- 3 出席者：知事、副知事、出納長、各部局長等
- 4 欠席者：観光局長
- 5 議事概要：以下のとおり  
（ 議題提出部局説明・回答、 意見・質問）

議題1：第二次戦略計画最終案について（政策部）  
資料1に基づき説明（「資料1-2」は無し）

新たに設置する「県と市町の地域づくり支援会議」の趣旨等その具体的内容を第1編の「地域づくり」のところに盛り込めないか検討してほしい。

具体的内容の記載について検討していきたい。

議題2：みえ経営改善プランの見直しについて（総務部）  
資料2に基づき説明

地方債の抑制について、「真に必要なもの」等の表現が必要である。

「外部監査制度の有効活用」の目標である指摘内容に対する100%の改善はありえないのではないか。

外部監査意見のなかには、制度や仕組み上受け入れ難いものもあり、きちんと理解してもらえるよう、総務部が中に入って対応すること。

議題3：中期財政見直しについて  
資料3に基づき説明

できるだけ簡素、効率、身の丈にあった財政を基本に運営しなければいけない。  
国からの押し付けもあるが、受け止めるべきは受け止め、三重県として判断すべきことは県として判断する。

Bパターン以下を基本に財政運営を進めていく。

議題4：平成19年度県政運営方針（案）について  
資料4に基づき説明

「・・・県の最大のパートナーであり、県民の皆さんに最も身近な政府である市町との連携を一段と強めていくことが求められており、・・・」（P3）について、市町を「政府」と言わないほうがよいと思うが

表現を工夫する。

「PLAN, DO, SEEの仕組みが相互に連携して・・・」(P4)の記述について、県民向けに英語を使うのはどうか

カタカナに修正する。

「一層、不断に行政の改善に取り組むとともに、効率化、重点化を図り、最適な状態での県政運営を進めます。」の「最適」の表現についてわかりにくいので、「全体最適」といった表現にしてはどうか。

経営改善プランの表現とトーンを合わせて調整する。

「総人件費の抑制を図るため、市町と県との役割分担の見直し、・・・」について県の人件費を抑制するために市町に権限移譲するように解釈できるので検討されたい。

総務部と調整する。

「昨年度に実施された全庁アセスメントの審査結果をもとに、その課題の改善に取り組むとともに、公務員に求められる高い規範意識のもとで、県政の信頼確保に努めます。」について、前後との脈絡がわからない。

経営品質向上活動等の文言を加えるなど、表現を工夫したい。

#### 議題5：附属機関等の見直しについて

##### 資料5に基づき説明

一括条例案の中味であるが、具体的な名称を一括条例案に上げるのか、包括的な条例として上げておいて、規則で改正していいのか。

一括条例の中に別表を入れ、各附属機関を並べる形で上げていく。

新設や残ってしまったものは、その都度、条例を改正することになるのか。

従来のものは、個別で条例化してきている。今回の見直しで附属機関とするものは、6月で条例化するという整理である。急がなくても良いものは、9月に出していく。

これまでの個別条例でやっている部分との整合性もあるが、数十本と附属機関とするものを出す時に、個々で出すのではなく、一括して上げさせてもらうものである。それでも、名称や設置目的は最低限入れないと上げられない。

効率性から言えば一括であるが、ある程度、別表も含め、必要十分で工夫されたものでないといけない。

条例化しなければならないものは議会对応が必要であるが、緊急を要するものなどは任意で設置できるようにしてもらいたい。

真に必要で緊急的に対処が必要となるものは、知事による専決処分を行い、直近の議会で報告することで対応する。

今回、附属機関として出していくものを4月一杯でまとめていく。

その時には、部間でばらつきがないよう必要な調整をお願いしたい。

1～2年間とか期限を限定して条例に明示しておけば、自然消滅するものを、わざわざ条例改正しなくてもいいと考えるが、そういう手法はとれないか、一度検討してもらいたい。

包括的な条例では、委任しすぎにならないか。個別の条例が生きているのでむしろかしいのではないか。あまり軽くすることはできない。

あまりにも包括的になると、条例が形骸化してしまう。今回のようにまとめて出す場合の一括条例は、簡素化でいいと思う。

今回議論していただいた方向で、今後、総務部で調整をさせていただく。

以 上